

Press Release
報道関係者各位

2022年9月15日
日本公認会計士協会

第43回日本公認会計士協会研究大会開催について

日本公認会計士協会は、2022年9月15日に第43回研究大会をパシフィコ横浜ノース（神奈川県横浜市）による会場参加とオンライン参加の併用にて開催しました。

この研究大会は、公認会計士、外部有識者、実務家等の研究成果等を全国から参集した公認会計士の前で発表し、社会との交流を深め、知識の吸収や資質の向上そして社会的発言の場とすることを目的として、1979年から開催しているもので、研究大会が横浜にて開催されるのは1995年の第16回大会以来となります。

43回目となる今回は「公認会計士に期待される役割と業務～変化し続ける社会に向けて」をメインテーマとし、公認会計士に対する社会からの期待や要請が変化し広がりを見せる中、その責任に答えていくための一助となる10テーマの研究発表を行い、約1,370名（会場参加約570名、オンライン参加約800名）が参加しました。

また、研究発表に先立ち、開催地に関わりの深い外部講師を招いての記念講演も開催しており、今回は野並直文氏（株式会社崎陽軒代表取締役会長）から「シウマイ物語」をテーマに、創業からの歴史、社長に就任してからの改革や経営理念についてご講演いただきました。



以 上